

アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
第1回「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」
開催結果について（報告）

平成19年11月6日
内閣府
原子力政策担当室

内閣府、原子力委員会の主催により、第1回FNCA「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を平成19年10月30日（火）～31日（水）に開催した。本パネル会合では、杉本パネル議長（（独）日本原子力研究開発機構（JAEA）原子力研修センター長）のもと、「原子力発電分野における人材養成」をテーマに活発な議論が行われ、原子力発電の導入に向けた人材養成に関する情報共有を積極的に行っていくこと、及び、その第一歩として、FNCAウェブサイトを効果的に活用していくことなどが提言され、これらの結果をFNCA大臣級会合に報告を行うことを確認した。

原子力委員会からは、近藤委員長、田中委員長代理、松田委員、広瀬委員、伊藤委員が出席し、近藤原子力委員長が歓迎挨拶を行うとともに、田中原子力委員長代理が我が国のカンントリーレポートの発表と閉会挨拶を行った。

（添付資料1：プログラム、添付資料2：参加者リスト）

1. 主催

内閣府 原子力委員会

2. 開催時期

平成19年10月30日（火）～31日（水）

3. 開催場所

三田共用会議所（国際会議場）

4. 参加国及び出席者

オーストラリア、バングラディッシュ、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムにおける各国のエネルギー政策及び原子力政策に関わる行政官及び原子力発電における人材養成計画に係わる専門家

5. 会議結果の概要

（1）カンントリーレポート

参加各国から、原子力発電に関わる各国現状と将来の計画を紹介するとともに、それらの計画を展望した人材養成の状況や課題について報告が行われた。

○原子力発電を既に実施している国

中国は2020年に原子力発電を40GWeとすることを目標とするとともに、原子力発電の国産化を目指しており、人材養成への取組を強化しているとの報告がなされた。また韓国からは、RCA（原子力科学技術に関する研究、開発及び訓練のための地域協力協定）など多様な国際協力の活用について報告がなされた。日本からは、田中原子力委員長代理が日本の原子力政策及び計画を紹介するとともに、日本における人材養成の現状や課題を紹介した。

○原子力発電の新規導入についての具体的な計画を持つ国

ベトナムでは、2020年の原子力発電の運転開始に向け、人材養成を含む基盤整備を精力的に進めており、また、インドネシアは、エネルギーミックスを目的に、電力に占める原子力発電の割合を4%とすることを目標に、2015-2016年までに最初の2基の原子力発電を導入する計画であり、タイでは、2020-2021年導入を目標に、内閣の最終承認を待つ状況であるとの報告がなされた。各国とも人材養成の重要性を強調した。

○原子力発電の新規導入についての具体的な計画を持たない国

バングラディッシュ、フィリピンでは原子力発電の導入について検討を行っているところであるとの報告がなされた。一方、オーストラリア及びマレーシアでは数年前に比べ原子力発電への関心が高まっているが、原子力発電の導入に関する決定はなされていないとの報告がなされた。

(2)「原子力発電導入に向けた人材育成」

○杉本パネル議長から、各国のカントリーレポートのまとめとして、具体的に原子力発電の導入を計画している国では、人材養成に対する強いニーズがあるものの、それに対応するような国際協力の枠組みが無いことが指摘された。例えば、ANTEP（アジア原子力教育訓練プログラム）でも、発電関係のニーズに対して対応できる既存のプログラムがないために、マッチングが成立しない状況がある旨報告された。また、原子力発電を導入するための人材養成は、導入国が自ら行う必要があり、国際協力は、それを効果的にサポートするためのものであること等について紹介された。

○また、原子力発電の導入を検討中の国々からの今後の人材養成に関する協力への主

な期待として、原子力発電の導入計画に対する専門家によるピアレビューの要請、FNCA参加国間での情報共有の枠組みの構築、日中韓の原子力発電導入時の経験の提示等があげられた。また、経験を積むための具体的な方策として、他国の研究炉建設への参加といったアイデア等の提示が行われた。

○総括セッションにて、以下について確認を行うと共に、これらの結果を東京で12月に開催される予定の大臣級会合に報告することとした。

- ・参加国間で、原発導入に向けた人材養成に関する情報共有を積極的に行っていくことで合意した。
- ・その第一歩として、FNCAウェブサイトを効果的に活用していくことを提言した。

(3) 招待講演

以下の3つの招待講演が行われた。

○「原子力知識管理 ー安全な原子力利用の中心軸ー」

松浦（財）原子力安全研究協会顧問から、原子力発電に係わる共通の課題として、安全な原子力利用に向けては有効な知識管理を確立する必要があること等について紹介された。

○「原子力発電を推進するための人材育成 ー日本原子力発電（株）の経験ー」

藤江日本原子力発電（株）フェローから、日本の原子力発電導入時の経験を例に、原子力発電の導入を推進するための人材育成について紹介された。

○「地球環境問題と原子力」

藤富J-POWER（電源開発株式会社）取締役（元CDM理事会メンバー）から、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の締約国会議（COP）における取組を中心に地球環境問題と原子力発電について紹介された。

(4) FNCAにおける協力について

パネルやFNCA全体の今後の協力について議論がなされた。

第1回 FNCA パネル会合「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」 プログラム

- 主 催:内閣府 原子力委員会
- 日 程:平成 19 年 10 月 30 日(火)~31 日(水)
- 開催場所: 三田共用会議所 国際会議室(3階)

10月30日(火)

09:30~09:50 開会セッション

議長:杉本 純 パネル議長

- (1) 開会挨拶:杉本 純 パネル議長
- (2) 歓迎挨拶:近藤 駿介 原子力委員会委員長
- (3) 参加者自己紹介他

09:50~10:05 セッション1:第7回大臣級会合結果及びパネルの全体計画

議長:ヴ・ダン・ニン ベトナム原子力委員会総務部長

第7回大臣級会合及びパネルの全体計画

町 末男 FNCAコーディネーター

<コーヒーブレイク>

10:20~11:50 セッション2:アジア地域における将来の原子力発電の展開を展望した人材育成

(各発表15分、議論10分)

議長:モーリス・リプリー オーストラリア原子力科学技術機構原子炉材料・燃料グループ長

- (1) 中国 ウ・チュンシ 中国核科学技術・情報・経済研究院教授
- (2) 韓国 ハン・ギョン・ウォン 韓国原子力研究所主任研究員
- (3) 日本 田中 俊一 原子力委員会委員長代理

<記念撮影>

< 昼食 >

13:15~14:30 セッション2:アジア地域における将来の原子力発電の展開を展望した人材育成(続き)

(各発表15分、議論10分)

議長:ウ・チュンシウ・チュンシ 中国核科学技術・情報・経済研究院教授

- (4) インドネシア アシュマッド・サーウィヤナ・サストラテナヤ インドネシア原子力庁
原子力エネルギー開発センター長
- (5) タイ ソンポーン・チョンクム タイ原子力技術研究所長
- (6) ベトナム ホアン・アン・チュアン ベトナム原子力委員会計画・研究開発管理部副部長

<コーヒーブレイク>

14:45～16:40 セッション2:アジア地域における将来の原子力発電の展開を展望した人材育成 (続き)

議長: アシュマッド・サーウィヤナ・サストラテナヤ

インドネシア原子力庁原子力エネルギー開発センター長

(7) オーストラリア モーリス・リプリー オーストラリア原子力科学技術機構
原子炉材料・燃料グループ長

(8) バングラデシュ シャウカット・アクバール バングラデシュ原子力委員会
原子力発電・エネルギー部主任技術者

(9) マレーシア ルー・トゥック・ギー エネルギー・水・通信省副局長

(10) フィリピン エフレン・バラオイング エネルギー省人事部主席行政官

16:40～17:50 セッション3:「人材育成に関わる共通課題に関する招待講演」

議長: ハン・ギョン・ウオン 韓国原子力研究所主任研究員

(1) 「原子力知識管理 —安全な原子力利用の中心軸—」

— 松浦 祥次郎 (財)原子力安全研究協会 顧問

— 討議

(2) 「原子力発電を推進するための人材育成 —日本原子力発電(株)の経験—」

— 藤江 孝夫 日本原子力発電(株) フェロー

— 討議

<レセプション > (1階 レセプションルーム)

10月31日(水)

09:30～10:30 セッション4:「原子力発電導入にむけた人材育成」

議長: 杉本 純 パネル議長

既存の協力活動の整理と将来の協力の可能性

— リードオフ: 杉本 純 パネル議長

— 討議

<コーヒーブレイク>

10:45～11:45 セッション5:「地球環境問題と原子力」

議長: ルー・トゥック・ギー マレーシアエネルギー・水・通信省副局長

— 講演: 藤富 正晴 J-POWER 取締役、元 CDM 理事会メンバー

— 討議

< 昼食 >

13:20～14:45 今後のパネルやFNCAの活動について(クローズドセッション)

14:45～15:00 セッション8:閉会セッション(クローズドセッション)

議長: ソンポーン・チョンクム タイ原子力技術研究所長

(1) パネルの今後の予定: 事務局

(2) 議長挨拶: 杉本 純 パネル議長

(3) 閉会挨拶: 田中 俊一 原子力委員会委員長代理

